

ユニバーサルサービス政策委員会（第17回）議事概要

1. 日時 平成24年2月14日（火）14時00分～14時40分
2. 場所 総務省 第1特別会議室（8階）
3. 出席者
委員 菅谷主査、大谷委員、國井委員、関口委員、高橋委員、東海委員、長田委員、藤原委員、三友委員
総務省 原口電気通信事業部長、古市事業政策課長、二宮料金サービス課長、大村料金サービス課企画官、安東料金サービス課課長補佐、廣瀬料金サービス課課長補佐、山野料金サービス課課長補佐
4. 議題
災害等緊急時における有効な通信手段としての公衆電話の在り方について
5. 模様
事務局より資料について説明後、議論。

菅谷：資料2の「答申（案）」については、東日本大震災における被害状況等のデータは更新されているが、本年1月23日まで実施した意見募集の結果を踏まえた修正はないとのこと。資料1の「答申（案）」に対して寄せられた意見及び考え方（案）」の内容及びこれを踏まえた資料2「答申（案）」の修正の可否について、ご議論いただきたい。

長田：形式的な話だが、意見が「です・ます調」で、考え方が「である調」であるのは違和感がある。「です・ます調」に表現を統一するよう修正願いたい。

事務局：ご指摘を踏まえて、記載ぶりを改めたい。

高橋：資料1の意見10に対する考え方の記載ぶりを、より丁寧にすべき。「答申（案）」のP11には、自治体が作成する防災マップへの公衆電話の設置場所の掲載を奨励する記述があり、これと同程度の記載ぶりに修正願いたい。

また、公衆電話の設置場所に関する情報の提供については、自治体等の公的機関からの要望を待つのではなく、NTT東西から積極的に働きかけることが重要と考えている。この点について、「答申（案）」において何らかの形で言及できないか。

事務局：意見10に対する考え方について、ご指摘を踏まえ、「答申（案）」の内容を引用する形で防災マップに関する記述を追記したい。

自治体等への働きかけについては、「答申（案）」の中でNTT東西や総務省等は公衆電話に関する利用者への周知に取り組むこととされており、この周知の内容を工夫す

ることに対応できると考えている。ご指摘を踏まえ、このような趣旨の記述を意見 10 に対する考え方に盛り込みたい。

菅谷：資料 1 の意見 19 の考え方において、「今後も、適時適切なタイミングで NTT 東西により更なる情報開示が行われることが適当」と記載がされているが、「答申（案）」のどの箇所に対応しているのか。

事務局：ご指摘の考え方は、「答申（案）」に直接記載されている表現ではなく、平成 23 年 12 月 20 日付当審議会答申（「ブロードバンド普及促進のための環境整備の在り方について」）において示されているものである。

「答申（案）」における関連の記述としては、P21 に「NTT 東西においては、公衆電話が災害等緊急時における有効な通信手段であることを踏まえ、こうした課題について、速やかに検討を開始し、必要な対策を前倒しで行っていくことが望ましく、また、適切なタイミングで情報提供を行うことが適当である。」とあり、意見 19 はこれに関して提出されたものと理解している。

三友：資料 1 の意見 12 に対する考え方について、「創意工夫を期待する」という表現には違和感がある。「積極的な対応を期待する」といった記載ぶりが適当ではないか。

事務局：ご指摘のとおり修正したい。

藤原：資料 1 の意見 19 に対する考え方について、引用文では「行われることが適当」とされているのに、文章全体の文末は「行うことが望ましい」となっている。ニュアンスの異なる表現が混在しており、解釈に困る。単に平成 23 年 12 月 20 日付当審議会答申において示されている内容を紹介すれば足り、それ以外の表現を付加する必要はないのではないか。

事務局：ご指摘を踏まえて、考え方 19 について、「・・・である旨示しているところです。」とし、それ以降の記述は削除することとしたい。

菅谷：それでは、本日いただいたご意見を踏まえて修正のうえ、「答申（案）」に対して寄せられた意見及び考え方（案）」及び「答申（案）」を次回電気通信事業政策部会に当委員会の検討結果として報告することとする。

大谷：今回の「答申（案）」は、NTT 東西に対して期限を定めて実行を求める内容となっていない。他方で、答申としてまとまった場合、事柄の性質上一刻も早く取り組むべ

き内容だと考える。事務局には答申のフォローアップ等、答申後の具体的な予定が定まってるのであれば説明願いたい。

事務局：具体的な予定はまだ決まっていないが、今後、各主体が答申を受けて実施する具体的な取組やその予定、実施状況等について、総務省において把握できるようにし、それらについては委員の方々にも報告できるようにしたい。

菅谷：次回電気通信事業政策部会において、答申後のフォローアップについて事務局から報告願いたい。

以上